



ランディングギア新工場の建設について

JALは、2026年5月19日より、羽田空港整備地区内において航空機のランディングギア整備などを行う新工場(以下、「ギア新工場」)の建設を開始しました(2027年12月末竣工予定)。これに伴い、JALはギア新工場に関わる不動産を保有する新会社「株式会社Landing gear Innovation Factory」を2026年6月8日付で設立しました。ギア新工場では、現在分散している機能を集約するだけでなく、多くの自動省力化設備や日本初導入の最先端技術設備を導入することで、JALが長年培ってきたランディングギア整備技術をさらに強化し、世界の航空需要に応える次世代の中核拠点の構築を目指します。



ギア新工場 完成イメージ



整備中のランディングギア



ランディングギアとは、離着陸時や地上を移動する際に機体を支える、いわば「飛行機の脚(あし)」にあたる重要な装備品です。本工場で実施するオーバーホール整備(以下、「ギア整備」)は、約10年ごとに航空機から取りおろして実施する大規模な作業です。めっき技術やその代替となる次世代の溶射技術、特殊な金属加工、塗装、非破壊検査技術など、高度なノウハウと専門設備が不可欠であり、まさに技術の結晶とも言える整備です。

JALは50年以上にわたり大型航空機のギア整備を手掛け、世界有数のギア整備拠点として成長してきました。ギア新工場における機能集約と最先端技術の導入により、以下の社会課題の解決と価値創造を目指します。

- ・技術力の継承と人材育成 : JALが持つ熟練した技術力を次世代に継承
- ・生産性の向上 : 機能集約と最新設備による品質向上・生産効率化
- ・環境への配慮 : 環境に配慮した最新建屋の建設による環境負荷軽減

なお、ギア整備については、引き続きJALグループの航空機整備を担う株式会社JALエンジニアリングが中心となって実施し、日本の空と世界の空の安全に貢献するとともに、日本の航空産業の発展に寄与してまいります。

■会社概要

名称	株式会社 Landing gear Innovation Factory (英文名:Landing gear Innovation Factory Co., Ltd.)
所在地	東京都大田区羽田空港3-5-1
代表者	代表取締役社長 川口 雄太(かわぐち ゆうた) ※株式会社JALエンジニアリング執行役員と兼任予定
設立日	2026年6月8日
資本金	510万円
株主構成	日本航空株式会社:100%

以上